

まちのできごと



真っ暗な送水トンネルに職員が入っているところ(防鹿側入口)

昭和39年に完成し45年が経過した大竹市工業用水御園送水トンネルの劣化調査を上下水道局が1月1～3日に行いました。

目視検査では大きな異常はありませんでしたが、最終的な調査結果は3月末までにまとめられます。

議会を傍聴しましょう

議会では市民の皆さんの生活に直結した、いろいろなことがらを審議しています。

市政を身近に感じていただくためにも、ぜひ議会(本会議・委員会)を傍聴してください。

また、本会議開催中は本庁2階のロビー(税務課前)のテレビで議会中継を見ることができます。

■ 3月定例市議会(予定)

3月4日	本会議
4～5日	常任委員会
8～9日	特別委員会
10～11日	本会議(予備日含む)
15～18日	予算特別委員会
26日	本会議

正式な日程は、本会議前の議会運営委員会において決定されますので、変更する場合があります。

※日程、傍聴についてのお問い合わせ

大竹市議会事務局
TEL 0827-59-2183

あともがき

この寒い時期一番幸福に思うことは、温泉で温まり、雪を見ながら鍋で一杯、空想するだけで幸せである。

鍋といえば、温泉地定番はぼたん鍋、程よく脂ののったイノシシ肉、ふうふうと息を吹きかけ食感を味わう。ところで、煮え立つ鍋の中、イノシシ肉は熱くないと言われている。そうでしょうか、私はそうは思わない。熱いものは熱い。

鍋の主役であるイノシシも、農家にとっては憎まれもの、このイノシシも地球温暖化の影響と、ブタのDNAを受け進化を始めた。イノシシ肉が美味なため、イノブタ

を生産、しかし、しょせんイノブタ、味は落ちる。このイノブタが山野に進出、野生のイノシシと一体になり、以前は5月頃に4～5頭出産し、成育するのは2～3頭であったが、最近1年に2回も出産し、しかも1回に6頭程度生まれ、外敵も少なく良好な環境下、ほとんどが成長する。もはや地方レベルの被害対策では、限界に等しい。イノシシの世界も、人間のわがままから、異変が起きている。12月に、コペンハーゲンで開かれた温暖化国際会議、各国首脳は本気で、この現状を見つめて欲しい。

議会だより編集委員

日域 究 細川 雅子
乃美 晴一 児玉 朋也
山田 晟彰 山崎 年一